

育児休業取得状況等報告書

【企業担当者記載欄】

1 企業名	株式会社 サイポート
2 貴社の取組状況について	<p>(1) 男性の育児休業取得促進に取り組むきっかけ・背景 男性社員より育児休業の申し出があり、今世の中に合った対応を 致しました</p> <p>(2) 男性の育児休業取得促進にかかるこれまでの取組 男性社員と個別に面談、ヒヤリング</p> <p>(3) 取得促進にあたっての課題とその解決策、工夫した点 人間的に余裕がよいことが課題ではあったが、外注先の構築を しました。又、データは共有サーバーを設置するこじで、外注先からもアクセス</p> <p>(4) 取得者がいる職場の業務継続のために取り組んだこと できる限り行いました。 新規の注文に関しては、外注に依頼をいたしました</p> <p>(5) 定着に向けて、更に取り組んでいることがあれば教えてください 今後は外注先との取引を伸ばして行きます。</p>

【対象従業員記載欄】

1 育児取得期間	通算3 日間
2 育児休業の取得について	<p>(1) 育児休業を取得したきっかけ 子どもが産まれ、お世話しようと思ったときに慣れるまでの最初のうちは仕事と育児の 両立が難しいと判断したため。育児に集中する期間が欲しかったため。</p> <p>(2) 育児休業を取得して良かったこと 子どもが新生児の期間を多く一緒に過ごすことができた。また育児に関しても 日々夫婦で話し合いながら一緒に行くことが最初にしてきた事はとても大きかった。</p> <p>(3) 育児休業の取得にあたり、円滑に業務を引き継ぐ上で工夫した点 「連休明けの過剰しつが円滑になり 元々在宅勤務だったので、仕事のデータや案件管理などは共有サーバーが で行っていたので引き継ぎは容易だった。</p> <p>(4) 育児休業の取得経験を通して業務に生かしていること 今後、他の社員さんが同じ立場になった時、仕事の引き継ぎや管理 がしやすいように方法やデータを日頃からまとめていること。</p> <p>(5) これから育児休業の取得を検討している方へのアドバイス 産後の奥さんは力が弱まっているのと同じ状態なので、身体があまり動かさず 育児のサポートは子ども事ながら、家事は全て旦那がやります。できる用になった方が楽です。</p>

(注意事項)

支給要綱第3条第1項第12号に基づき、本書への記載事項を県のWebサイトに掲載します。
なお、掲載に当たっては、その内容を事前に確認します。